

- 関係法規
- 学習指導要領
- 東京都の教育目標
- 大田区の教育目標

学校の教育目標
 人間尊重の精神を基盤とし、心身ともに健康で情操豊かな児童を育てるために、次のような児童像を掲げ、教育を推進する。

- ・よく考え工夫する子供
- ・思いやりがあり助けあう子供
- ・どこまでもやりぬく子供
- ・明るく丈夫な子供

児童の実態

- ・健康課題に向かって努力している
- ・基礎学力が身に付いていない児童が多い
- ・自然に対する興味関心が強い
- ・友達との関わり方が不得手な児童が多い

- 学校経営方針（学力面）**
- ①学校の授業・寄宿舎での学習時間を通して、学習規律、学習習慣を確立する。
 - ②東京ベーシックドリル等を活用して児童の学習定着状況を把握し、一人一人に合わせた指導で基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。
 - ③豊かな自然を生かした体験的な学習、少人数学級での個別指導、ICT危機の活用等多様な学習活動の工夫により、習得・活用・探求型の学習を行う。
 - ④問題解決学習を全校で推進し、考えて説く力や話し合って相互に高める力を身に付ける。
 - ⑤全教育活動を通し、言語活動を重視し、思考力、判断力、表現力の育成を図る。
 - ⑥自立活動の時間を通して、自らの健康に興味関心をもち、規則正しい生活、バランスのとれた食事、毎日の運動をすることで自らの健康課題を克服できる力を育てる。

各教科の指導の重点
 児童理解に基づく授業改善プランを活用し、基礎的・基本的な学習内容を十分に習得させるとともに少人数の学級の利点を生かし、一人一人の児童の考えを大切に、自らが意欲をもって問題解決できる力を育てる。

総合的な学習の時間の指導の重点
 南房総の自然や地元の人々・歴史・文化に触れさせ、自ら課題を見付け、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

進路指導の重点
 個々の児童の健康回復と体力・学力の向上を図り、児童一人一人がそれぞれの進路に自信をもって進めるよう指導する。

本校における学力向上のための手立て

- ・『人間関係を深め合う児童の育成～関わり合う活動を通して～』という主題で校内研究を行い、人間関係を深め合う児童を育てるために、「関わり合う」授業を中心に研究を進め、その中で児童に達成感や自己有用感を味わわせ、学力を定着させる。
- ・算数学習において習熟度別指導を実施し、一人一人に応じた学習指導を行う。
- ・ステップ学習のプリントを寄宿舎での学習時間にも行い、児童が進んで学習できる環境を作る。
- ・学校や寄宿舎の本、館山市の移動図書館「わかしお号」の本を意図的に読ませることで、読書に親しみながら文章を読み取る力をつける。

道徳教育の指導の重点
 人間尊重の精神を学校・寄宿舎生活の中で養い、他を思いやる児童を育成すると共に、道徳授業地区公開講座を開き、授業を通して意見交換を行い、日常の実践の基盤をつくる。

特別活動の指導の重点
 充実した集団生活を体験させ、望ましい人間関係の中で社会性の育成を図る。社会性を培うため3年生からクラブ・委員会活動に参加させる。また寄宿舎では自治会活動やクラブ活動を充実させる。

生活指導の重点
 学校や寄宿舎の生活が円滑に営まれ、豊かな人間性を育成するために、あいさつや整理整頓を徹底させ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。

平成29年度「学習効果測定」の結果分析 (3・4年)

*学習効果測定は4年生のみ行ったので、成果・課題・分析は4年
授業改善のポイントについては中学年

	成果と課題	<p>ー内容別結果分析を参考にしてー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス平均値は、目標値を大きく下回っている。 ・ 基礎問題においては、目標値を大きく下回っている。 ・ 活用問題においては、目標値を大きく下回っている。 ・ 「話し合いの内容を聞き取る」においては、目標値をやや下回った。 ・ 「漢字を読む」「漢字を書く」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「言葉の学習」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「物語文の内容を読み取る」においては、目標値をやや上回った。 ・ 「説明文の内容を読み取る」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「調べた結果の表をもとに文章を書く」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「作文」においては、目標値を大きく下回った。時間内に問題に取り掛かることができない児童もいた。
国	観点別結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「国語への関心・意欲・態度」は目標値を大きく下回っている。 ・ 「話す・聞く能力」は目標値を下回っている。特に、「互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うこと」について課題が見られる。 ・ 「書く能力」は目標値大きく下回っており、特に「指定された長さで書くこと」と「2段階構成で書くこと」、「意見と理由を区別して書くこと」について課題が見られる。 ・ 「読む能力」は目標値を下回っており、特に「説明文の要点のとらえ方」について課題が見られる。「段落の要点に注意して読み取ること」は、目標値を上回っている。 ・ 「言語についての知識・理解・技能」は目標値を大きく下回っている。特に、「漢字の読み書き」と「国語辞典の使用」について課題が見られる。
語	授業改善のポイント	<p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元に合わせて、関連した本の読み聞かせを行い、本への誘いを進める。 ・ 児童の興味や思考に合わせた授業づくりを心掛ける。 <p>【話す・聞く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く必然性のある話題を与え、相手の話を聞くことによって自分にとってプラスになることを実感させる。 ・ 相手意識をもって話すことができるように支援する。 <p>【書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日記の学習に取り組みせ、書く習慣を身に付けさせる。 ・ 構成メモを使って作文を書かせ、段落の構成などの理解をさせる。 <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文の学習では、段落ごとに大事なことは何かを考えさせ、細かい所や大切な言葉に注目することを意識させる。 <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習漢字の復習に取り組みせる。 ・ 国語辞典の活用場面を増やす。

(3・4年)

	<p>成果と課題</p>	<p>ー内容別結果分析を参考にしてー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス平均値は、目標値を大きく下回った。 ・ 基礎問題においては、目標値をやや下回った。 ・ 活用問題においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「学校の周りの様子」においては目標値をやや下回った。 ・ 「市の様子」においては、目標値を下回った。 ・ 「買い物調べ」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「店で働く人」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「農家の仕事」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「昔の暮らしの様子」においては、目標値を下回った。
<p>社</p>	<p>観点別結果の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会的事象への関心・意欲・態度」は目標値を大きく下回った。 ・ 「社会的な思考・判断・表現」は目標値を大きく下回った。「買い物調べ」や「店で働く人」の項目は目標値を下回っているが、「地域や市の様子」の項目は目標値を上回っている。 ・ 「観察・資料活用の技能」は目標値を大きく下回った。特に、「資料を読み取る能力」について課題が見られる。 ・ 「社会的事象についての知識・理解」は目標値を大きく下回った。特に、「地図記号についての理解」や「色々な店の種類や特色の理解」について課題が見られる。
<p>会</p>	<p>授業改善のポイント</p>	<p>【社会的事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞やニュースの話題を紹介し、身近なことから社会を考えることができるようにする。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校外で調査する活動を多く取り入れるとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えさせる。また、調査したことをまとめさせたり、発表したりする機会を多く設定する。 <p>【観察・資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の基本的な読み取り方を身に付けさせる。 ・ 地図や各種の具体的資料を効果的に活用する。 <p>【社会的事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のまとめ新聞を書かせる中で、学習の理解を深めさせる。 ・ 授業のまとめを自分で書かせ、学習のポイントになる内容を振り返らせる。

(3・4年)

算 数	成果と課題	ー内容別結果分析を参考にしてー
	観点別結果の分析	
	授業改善のポイント	

	<ul style="list-style-type: none">・ クラス平均値は、目標値を大きく下回った。・ 基礎問題においては、目標値を大きく下回った。・ 活用問題においては、目標値を大きく下回った。・ 「計算の復習」においては、目標値を大きく下回った。・ 「大きい数・小数・分数」においては、目標値を大きく下回った。・ 「たし算・ひき算」においては、目標値を大きく下回った。・ 「かけ算」においては、目標値を大きく下回った。・ 「わり算」においては、目標値を大きく下回った。・ 「時刻と時間」においては、目標値を大きく下回った。・ 「長さ・重さ」においては、目標値を大きく下回った。・ 「円と球・三角形」においては、目標値を大きく下回った。・ 「□を使った式」においては、目標値をやや上回った。・ 「ぼうとグラフと表」においては、目標値を大きく下回った。
	<ul style="list-style-type: none">・ 「算数への関心・意欲・態度」は、目標値を大きく下回った。・ 「数学的な考え方」は、目標値を大きく下回った。「あまりの処理」や「球の半径から箱の辺の長さを求める計算」について課題が見られる。・ 「数量や図形についての技能」は、目標値を大きく下回った。「0を含む乗法の計算」や「時刻と時間」について課題が見られる。また、「基本的な計算問題」では正答率が低い。・ 「数量や図形についての知識・理解」は目標値を大きく下回った。「命数法から記数法への変換」や「円と球・三角形の基礎的な理解」について課題が見られる。
	<p>【算数への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日常的に計算問題に取り組ませ、伸びを実感させる。 <p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 問題を図に表して、視覚的に設問を理解できるようにする。・ 友達の考え方をういて問題を解決できる経験をさせ、多様な考え方のよさを実感させる。 <p>【数量や図形についての技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 計算問題に繰り返し取り組ませる。 <p>【数量や図形についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 定義が全員に確実に定着するよう、スモールステップを意識する。・ 日常生活場面の中から算数に関わりがある物事に目を向けさせる。

(3・4年)

	<p>成果と課題</p>	<p>ー内容別結果分析を参考にしてー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス平均値は、目標値を大きく下回った。 ・ 基礎問題においては、目標値を大きく下回った。 ・ 活用問題においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「身近な自然の観察」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「植物の育ち方」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「昆虫の育ち方」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「昆虫の体のつくり」においては、目標値を上回った。 ・ 「太陽と地面の様子」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「光の性質」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「風やゴムの働き」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「電気の通り道」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「磁石の性質」においては、目標値を大きく下回った。 ・ 「物の重さ」においては、目標値を大きく下回った。
<p>理科</p>	<p>観点別結果の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自然事象への関心・意欲・態度」は目標値を大きく下回った。 ・ 「科学的な思考・表現」は、目標値を大きく下回った。特に、「時間の経過にともなうかけの動きについての考え」や「実験結果に対する説明の仕方」について課題が見られる。 ・ 「観察・実験の技能」は、目標値を大きく下回ったが、「昆虫の正しい飼育の仕方」を選択する問題や「昆虫の体のつくり」を答える問題では目標値を達成している。 ・ 「自然事象についての知識・理解」は、目標値を大きく下回っている。特に、「光の性質」や「電気の通り道」について課題が見られる。
	<p>授業改善のポイント</p>	<p>【自然事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の興味や思考に合わせた授業を心掛ける。 ・ 身近な事象を取り上げ、学習とつなげるようにする。 <p>【科学的な思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをノートに書かせることで思考を促すようにする。 ・ 「仮説、実験・観察、結果、まとめ」の思考を定着させる。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察や実験のポイントを適切に教え、その上で習熟させる。 <p>【自然事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめを自分で書かせ、学習のポイントになる内容を振り返らせる。

(3・4年)
= 1学期の学習や実態より =

体	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたルールの中でのみ活動することに慣れてしまっている。(自分たちでルールを変えて楽しもうとする意識が低い) ・勝ち負けを受け入れられないことがある。 ・苦手な運動に取り組む意欲も低く、技能の向上が図られないことがある (1学期の現状から) ・運動経験の不足から、基礎的な体力不足がみられる。とくに、4年生の2人、3年の1人については、肥満傾向からの運動への消極的な面が強い。 ・4年女子1名は、体操等の経験もあって、巧みに動く力はあるが、人前や集団の中での活動には課題が残る。 ・持久力は、持久走の結果よりも、1名を除いて低い傾向にある。
	授業改善のポイント	<p>(指導の手立て・重点事項として)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆でよりよいルールを作っていく場面を多く取り入れる。 ・勝敗を受け入れている子を取り上げ、よさを広げる。 ・視覚的に改善点を把握することが出来るよう、写真や動画を使う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数の中で、個々の良さ、出来ばえをスモールステップで認める ○ ボールやゲーム的な運動は、自立活動などを通したり、高学年との合同学習も考える。 ○ 筋力や持久力を高めるような体操や力試し系の運動を取り入れる ○ 運動会に向けて、集団として高まっていこうという意欲をもたせる。

平成29年度「学習効果測定」の結果分析

(5年)

	成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎問題・活用問題共に、目標値を下回っている。 ●「聞き取ること」においては、目標値を下回っているが、話し手の意図や工夫を考えながら話の内容が全体的に課題が見られる。 ●「漢字を書くこと」においては、目標値を下回っている。新出漢字の書き順、字形、送り仮名等に課題が見られる。 ●「説明文の内容を読み取ること」「話し合うこと」においては、目標値を下回っている。 ●「作文」においては、目標値を著しく下回っている。文章の組み立てに課題が見られる。 ○「漢字を読むこと」においては、目標値にほぼ到達している。 ○「言葉の学習」においては、目標値を下回っているが、主語と述語の理解、短文作りは比較的できる児童がいる。 ○「物語文の内容を読み取ること」においては、目標値を下回っているが、登場人物の気持ちや様子を読み取ることができている。
国	観点別結果分析	<p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 <p>【話す・聞く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。特に、「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞き、メモをとること」について課題が見られる。 <p>【書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を著しく下回っている。特に、「段落構成を意識して書くこと」や「意見と理由を分けて書くこと」について課題が見られる。 <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標値を下回っているが、他の観点よりは目標値に近い。「文章の要点に注意して、全体の内容を要約すること」について課題が見られる。 <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。特に、「漢字を書く」ことについて課題が見られる。
語	授業改善のポイント	<p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元に合わせて、ブックトークを行い、本への誘いを進める。 ・図書時間の確保に努める。 ・児童の興味や思考に合わせた授業づくりを心がける。 <p>【話す・聞く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く必然性のある話題を与え、相手の話を聞くことによって自分にとってプラスになることを実感させる。 ・話し合う前に、相手意識をもって話したり聞いたりできるよう助言し、自己評価させる。 <p>【書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視写を継続し、段落構成や意見と理由の分け方などの理解を進める。 ・毎時間、授業感想を書かせる。 ・手紙文や一言日記等、目的を決めて文章を書かせる。 <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人読み」から「話し合い」の流れで学習を進め、多様な読み方を共有し、登場人物の心情について深く考えるようにする。 ・様々な場面で端的に要約することを要求する。大切な言葉に注目することを意識させる。 <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習の方法を身に付けさせる。週の最終日に漢字テストを行う。 ・日常での国語辞典の活用場面を増やす。 <p>★個々の能力差が大きいので、基礎基本徹底の指導を個別に計画していく。</p>

(5年)

	成果と課題	<ul style="list-style-type: none">●基礎問題・活用問題共に、目標値を下回っている。●「安全な暮らし」においては、目標値を下回っている。●「ごみのしよりと利用」「地域の発展につく人々」においては、目標値を下回っている。●「県の様子」においては、目標値を下回っている。都道府県ごとの特産物や作物等、各都道府県についての知識理解において課題が見られる。●「地図の見方」においては、目標値を下回っている。特に地図記号、方角、縮尺の計算に課題が見られる。○「くらしをささえる水」においては、目標値を下回っているが、節水するためにできることを具体的に考えることはできている。
社	観点別結果分析	<p>【社会的事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を著しく下回っている。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。 <p>【観察・資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に、資料から物事を読み取り、活用することが全体的に課題が見られる。 <p>【社会的事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。
会	授業改善のポイント	<p>【社会的事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・新聞やニュースの話題を紹介し、身近なことから社会を考えることができるようにする。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">・資料を基に、話し合う機会を多く設定する。 <p>【観察・資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・資料の基本的な読み取り方を身に付けさせる。・読み取ったことを活用して、新聞にまとめる機会を設定する。 <p>【社会的事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none">・討論の機会を設定する。・単元のまとめ新聞を書き、発表する機会を設定する。・自分が興味をもった都道府県を調べさせ、お互いに発表する場面をもたせ、必要性をもたせる。・地図記号かるたやフラッシュカード等を使って、地図記号に慣れ親しませる。 <p>★5年生では地域の暮らしや産業の様子について、興味のあることを中心に置きながら、覚えるのではなく、自分で発見したり発表したりする学習をなるべく多く組み入れて、興味・関心・意欲が高まるようにしていく。</p>

(5年)

	成果と課題	<ul style="list-style-type: none">●基礎問題・活用問題共に、目標値を下回っている。●「いろいろな形」においては、目標値を著しく下回っている。○「計算のきまり・変わり方調べ」においては、目標値を下回っているが、ある程度の計算はできている。○「計算の復習」においては、目標値を上回っている。簡単な数のたし算やひき算等は比較的できている。
算	観点別結果分析	<p>【算数への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を著しく下回っている。 <p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に十進位取り記数法の理解から、指定された大きさの数を考えることに課題が見られる。 <p>【数量や図形についての技能】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に、二つの数量の関係を表す式から、関係を表に表すことに課題が見られる。 <p>【数量や図形についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に、cm、m、kg、g等の関係の理解に課題が見られる。
数	授業改善のポイント	<p>【算数への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・日常的に計算問題に取り組みせ、伸びを実感させる。・学習の個別化を進め、自分のペースで友達と話し合いながら楽しく学習できる環境づくりに努める。 <p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・文章問題は図に表して、視覚的に設問を理解できるようにする。・友達の考え方をういて問題を解決できる経験をさせ、多様な考え方のよさを実感させる。 <p>【数量や図形についての技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・計算問題に繰り返し取り組ませる。100マス計算を習慣付かせる。・基礎演習の時間を十分に確保する。 <p>【数量や図形についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none">・定義が全員に確実に定着するよう、スモールステップを意識した授業づくりに努める。・ゆっくり理解していく児童については少人数体制で対応する。・日常的な生活場面の中から算数に関わりがある物事に目を向けさせる。 <p>★毎時間の「ゴール（めあて）」を各自が明確にもてるようにし、何が分かって何が分からないのかを児童自身が振り返るようにする。それに対して、個別に指導する場面を増やしていく。</p>

(5年)

理	成果と課題	<ul style="list-style-type: none">●基礎問題・活用問題共に、目標値を著しく下回っている。●「天気の様子と気温」「電気のはたらき」「動物のからだのつくりと運動」「月と星」「物の体積と力」「物の体積と温度」「水のすがた」「自然の中の水」「物の温まり方」においては、目標値を著しく下回っている。○「1年間の植物の成長」においては、目標値をほぼ達成している。
	観点別結果分析	<ul style="list-style-type: none">【自然事象への関心・意欲・態度】●目標値を著しく下回っている。【科学的な思考・表現】●目標値を著しく下回っている。【観察・実験の技能】●目標値を著しく下回っている。【自然事象についての知識・理解】●目標値を著しく下回っているが、1年間の植物の生長についての知識・理解はできている。
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none">【自然事象への関心・意欲・態度】・児童の興味や思考に合わせた授業づくりに努める。・身近な事象を取り上げ、学習とつなげるようにする。【科学的な思考・表現】・考えをノートに書くことで思考を促すようにする。・「疑問、課題把握、仮説、実験・観察、結果、まとめ」の思考を定着させる。【観察・実験の技能】・観察や実験のポイントを適切に教え、その上で習熟させる。【自然事象についての知識・理解】・自分の言葉でノート整理する機会を多く設定する。また、学習したことに関しては映像で復習し、学習の定着を図る。

(5年)

体	成果と課題	<ul style="list-style-type: none">●勝ち負けを受け入れられないことがある。●「できないこと＝つまらない＝やりたくない（逃げたい）」という思考が根強い。●苦手な運動に取り組む意欲が高いとは言えず、技能の向上が図られないことがある。○与えられたルールの中でのみ活動するのではなく、自分たちでルールを変えて楽しもうとする意欲は高い。○ルールを理解し、技能の向上を実感した児童が苦手な児童に教え合う姿が見られる。
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none">・皆でよりよいルールを作っていく場面を多く設定する。・自信がもてない児童には、スモールステップで指導し、徐々にレベルを上げていくようにする。・友達と協力したり、話し合ったりすることができるような場を設定し、できたことを認め合う環境作りに努める。・できる～できないではなく、その個に応じた達成のポイントをしっかりと示すとともに、技や技能のポイントを授業の中でしっかりと提示する・ICT機器を用いて、視覚的に改善点やよさを把握することが出来るようにする。・多様な練習の場づくりを意識し、個々が自らのペースでゴール（めあて）に向かっていけるようにする。

平成29年度「学習効果測定」の結果分析 (6年)

	成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎問題、活用問題共に目標値を下回っている。特に活用問題は目標値を著しく下回っている。 ●「言葉の学習」問題は、目標値を下回っており、文の構成（述語）についての理解が課題である。 ●「説明文の内容を読み取る」問題は、目標値を下回っており、段落のまとまりを考えながら読み取ること課題がある。 ●「話し合いを基に活動報告を書き直す」問題は、目標値を大きく下回っており、特に資料と話し合いを正しく読み取ること課題がある。 ○「物語の内容を読み取る」問題は、目標値を下回っているが、登場人物の心情を読み取る内容は正答率が高い。 ○「漢字を書く」問題は、目標値を上回っている。 ○「話し合いの内容を聞き取る」問題は、目標値を上回っており、話し手の意図を考えながら聞き取る内容は正答率が高い。
国語	観点別結果分析	<p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 <p>【話す・聞く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。特に、「自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合おうとすること」について課題が見られる。 <p>【書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。特に「資料と話し合いを正しく読み取り、適切に書き表すこと」について課題が見られる。 <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標値を下回っているが、「登場人物の心情を読み取ること」については目標値に到達しており正答率も高い。 <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っているが、「漢字を書くこと」については目標値に到達している。「漢字を読むこと」についての課題がある。
	授業改善のポイント	<p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元に合わせて関連した本の読み聞かせを行ったり、学級文庫を充実させたりして、本への誘いを進める。 ・ 児童の興味や思考に合わせた授業づくりを心がける。 <p>【話す・聞く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事についてのスピーチを行う活動を取り入れ、自分の立場や意図を明確にした話ができる力を高める。 ・ 他教科の学習も含めて、相手意識をもって話したり聞いたりするという観点で自己評価をさせる。 <p>【書く能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他教科でも授業の学習感想を書かせる。 ・ 他教科の学習場面でも、資料を正しく読み取る活動を取り入れる。 <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアや全体での話し合いを行い、多様な読み方を共有し、登場人物の様子について深く考えるようにさせる。 <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書や他教科の資料などを音読させて、既習漢字の読みの力を高める。

(6年)

	成果と課題	<ul style="list-style-type: none">●基礎問題、活用問題共に目標値を下回っている。●「工業生産と工業地域」、「工業生産と貿易」の問題は、目標値を著しく下回っている。工業生産の学習内容の理解が課題である。●「私たちの生活と情報」の問題は、目標値を下回っており、森林の働きについての理解が課題である。○「日本の国土と人々の暮らし」の問題は、目標値を上回っている。特に、日本海側の気候について理解できている児童が多く、雨温図の読み取りもできている。
社	観点別結果分析	<p>【社会的事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に、世界の主な国旗の理解と、地図上から該当する国を指摘することに課題がある。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に、複数の資料を関連付けて情報を把握したり考察したりすることに課題がある。 <p>【観察・資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に、工業生産の学習内容の理解が課題である。 <p>【社会的事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none">●目標値を下回っている。特に、太平洋ベルトに関する内容や、日本の貿易相手などの理解に課題がある。
会	授業改善のポイント	<p>【社会的事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新聞やニュースの話題を紹介し、身近なことから社会を考えることができるようにする。・ フラッシュカードや国旗のかるたなどを用いて、世界の国旗について慣れ親しませる。・ 教室に地球儀を置いたり、世界地図を掲示したりして、国の位置関係を理解させる。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 資料から分かることについて話し合う機会を多く設定する。・ 学習のまとめを自分たちで書かせることによって、考察する力を高める。 <p>【観察・資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 資料の基本的な読み取り方を身に付けさせる。 <p>【社会的事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 討論の機会を設定する。・ 読み取ったことを活用して、インタビューや劇の形式で発表させたり、新聞や4コマ漫画、パワーポイントなどにまとめさせたりする。

(6年)

	<p>成果と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎問題、活用問題共に目標値を下回っている。 ●「百分率とグラフ」の問題では、目標値を下回っている。特に、百分率を理解して代金を求めて比較することが課題である。 ○「単位量当たりの大きさ」の問題で、面積と人数の割合を求めて混み具合について考察することができる児童が多く、目標値に到達している。 ○「数と計算」の領域では、小数でも分数でも、わり算よりかけ算の計算では目標値を上回っており、正答率も高い。
<p>算</p>	<p>観点別結果分析</p>	<p>【算数への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 <p>【数学的な考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っており、「量と測定」、「数量関係」の領域における、体積や割合を求めることや、正方形の紙を3回折って切った形が正八角形であると考えすることに課題がある。 ○「数と計算」の領域における、小数倍の文章問題や、文章問題を解くために小数の除法の立式をすることについては、目標値を上回っており、正答率も高い。 <p>【数量や図形についての技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 ●商に空位があるわり算や、帯分数を真分数になおす計算の正当率が低い。 ○分数倍の意味を理解している児童が多い。 <p>【数量や図形についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 ●偶数と奇数の類別や倍数についての理解に課題がある。 ○「図形」の領域における、円周をもとめる立式や合同な図形の問題では、目標値に到達しており、正答率も高い。
<p>数</p>	<p>授業改善のポイント</p>	<p>【算数への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとにレディネステストを実施して習熟度別にクラスを編成し、個別に目標をもって学習に取り組ませる。 ・ ベーシックドリルやステップアップ学習により、各自の課題を明確にさせる。 <p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章問題は図や数直線に表して、視覚的に設問を理解できるようにする。 ・ 図形は、具体物を活用して考えさ、図形の理解を定着させながら課題を解決できるようにする。 ・ 友達の考え方を聞いて問題を解決できる経験をさせ、多様な考え方のよさを実感させる。 <p>【数量や図形についての技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算問題に繰り返し取り組ませる。 ・ 課題を明確にしてスモールステップで技能を習得できるようにする。 <p>【数量や図形についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整数に関する知識（奇数と偶数、倍数と約数など）を日常的に問いかけて理解を定着させる。

(6年)

理科	成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎問題、活用問題共に目標値を下回っている。 ●「植物と発芽の成長」の問題では、目標値を下回っており、実験の意味や目的の理解が課題である。 ●「電流のはたらき」の問題では、目標値を下回っており、電磁石と棒磁石に共通する特徴の理解が課題である。 ○「魚のたんじょう」の問題では、目標値を上回っている。特に、メダカの卵の発生の順序について理解している児童が多い。 ○「植物の花のつくりと実」の問題では、目標値を上回っている。特に、結実するためには受粉が必要であることを理解している児童が多い。
	観点別結果分析	<p>【自然事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 <p>【科学的な思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 ●「電流の働き」の問題において、電流の流れる向きから、方位磁石の間に電磁石を置いた時の方位磁針の針の向きを指摘することが課題である。 ○「生命・地球」の領域における、気象衛星の雲の画像からある地点の天気を読み取る問題での正答率が高い。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。特に、顕微鏡の使い方が課題である。 <p>【自然事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標値を下回っている。 ●「天気の変化」の問題では、台風が近づいた時の天気の変化を理解することが課題である。 ○「生命・地球」の領域では、人の誕生に関する問題の正答率が高い。
	授業改善のポイント	<p>【自然事象への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の興味や思考に合わせた授業づくりに努める。 ・ 身近な事象を取り上げ、学習とつなげるようにする。 <p>【科学的な思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題把握、予想、実験、結果、考察」の思考の流れを定着させる。 ・ 考察を自分の言葉で書かせて、思考力を高める。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察や実験のポイントを適切に教え、その上で習熟させる。 ・ 実験の様子をイラストでまとめさせることで、何を目的とした実験なのかをしっかりと理解させたうえで実験に取り組ませる。 <p>【自然事象についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の図やイラスト、動画などを用いて視覚的な理解を促す。

(6年)

体	課題	<ul style="list-style-type: none">• 運動に自信がなく意欲が低い児童がいる。• 縄跳や水泳、持久走などの個人で取り組む運動については積極的に取り組むことができるが、チームで取り組む運動になると活動が消極的になる児童がいる。特に女子にその傾向がみられる。• リーダーシップをとってチームをまとめることができる児童がいる一方で、その他のメンバーの中からリーダーをフォローする言動がなかなか見られない。
育	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none">• 自信のない児童には、スモールステップを示して、本人ができると思えるところをスタートとし、徐々にレベルを上げていくようにする。• 個に応じた達成のポイントをしっかりと示すとともに、技や技能のポイントを授業の中でしっかりと提示する。• 個人で取り組む運動の場合も、ポイントをおさえて技を習得している児童に注目させて、誰もが体育の学習で活躍できる場を設ける。• 友達と協力したり、話し合ったりすることができるような機会を設定し、できたことに対して称賛していく。• 練習の場を多く設定して、それぞれの目あてに向かって練習できるようにする。• チームで取り組む運動の場合には、リーダーにメンバーの活躍の様子を発表させ、チームの構成メンバーとしての意識を高めさせる。

平成29年度 授業改善プログラム (音楽)

中学年	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく斉唱しながら正しく読譜する力を付ける。 ・ 発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌う。 ・ 音色やタンギングに気を付けて、リコーダーを演奏する。 ・ 歌声や演奏をよく聴き合い、友達の良いところに気付く。 ・ 思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする。
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の良さを認め、「できた。」という達成感が得られるように、繰り返し指導する。 ・ 音の高さや関係性を意識しながら階名唱で歌わせ、正しく楽譜を読み取る力を付ける。 ・ 発声練習を丁寧に行い、腹筋を使った歌い方を指導する。 ・ リコーダーの基本的奏法に慣れさせ、いろいろな楽器に取り組みさせる。 ・ 発表の場を多く設定し、聴き合い感想を伝え合うことにより、互いの表現の良さに気付かせる。 ・ 友達とのかかわり合い（ペア・グループ活動）を取り入れ、話し合い協力してつくり上げる楽しさを味わうことができるようにする。
高学年	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜の様々な記号を読み取って、歌詞や階名で歌ったり楽器で演奏したりする。 ・ 曲想に合った、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う。 ・ 楽器の特徴を生かして演奏する。 ・ 歌声や演奏をよく聴き合い、友達の良いところに気付き表現に生かす。 <p>思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたり、言葉で伝え合ったりする。</p>
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の良さを認め、表現する喜びを味わうことができるように、繰り返し指導する。 ・ 作曲家になったつもりで楽譜の様々な記号を読ませ、曲全体の構成を意識させる。 ・ 発声練習を丁寧に行い、各声部の歌声や全体の響きを味わって歌えるように指導する。 ・ いろいろな楽器に挑戦させ、基本的な演奏の仕方を指導し、技能を高めながら音色や響きを楽しむことができるようにする。 ・ 発表の場を多く設定し、聴き合い感想を伝え合うことにより、互いの表現の良さや工夫に気付かせる。 ・ 友達とのかかわり合い（ペア・グループ活動）を取り入れ、話し合い高め合い協力してつくり上げる喜びを味わうことができるようにする。 ・ 児童が主体的に取り組めるように、目標や学習のポイントを明確に示す。

授業改善プログラム (図工)

中学年	課題	<ul style="list-style-type: none"> 水彩絵の具の使い方に慣れていない。 「絵をかく」「モノをつくる」という造形活動に意欲的に取り組んでいるが、題材のテーマや目標をあまり意識しないで、自分が思いついたことを直截的につくってしまうことが多い。 工作活動では、カッターやハサミなど基本的な技能が身についている。絵画活動では、筆の使い分けがうまくできていない。
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 水彩絵の具の基本的な使い方をしっかりと身につけさせていく。 下書きや試し塗りを何回か繰り返すことを取り入れ、自分のなりの色や形、表し方を見つけながら、「かく・つくる」楽しさを味わわせ、イメージを広げさせていく。 流木・ビーチグラス・貝・木の実などの自然の材料を活用した活動を中心に、造形表現活動の快さや楽しさを経験させ、感じる力を身に付かせていく。 友達と作品を見せ合い、お互いの表現したいことを話し合わせ、題材のテーマに迫っていく活動であることを意識させていく。また、お互いの工夫したところや、表現のよいところを、発見させていくことで、子供同士の関わり合いを深めていく。
高学年	課題	<ul style="list-style-type: none"> 造形活動を楽しんでいる。 自分らしい造形的な表現方法を発見するのに時間がかかったり、自分で発想するより安易に友達の作品を模倣しようとしたりする児童がいる。 造形的なものの見方や考え方が固定化されていて、いつも同じテーマ（昆虫・動物・電車）の内容を表現している児童がいる。
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境や季節感を活用して、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）を使って造形感覚や感性を磨いていく。 一人一人の児童の造形的なものの見方や考え方、造形感覚や感性を培うとともに、児童が主体的に見たり、選んだり、感じたりする鑑賞活動に重点をおき、それぞれの表現の違いを肯定していく。同時に、友達の表現内容や方法の良さに気付かせ、自己の表現内容や方法を拡充させていく。

平成29年度 家庭科授業改善プラン

第五学年	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を取り巻く家庭について、家族の仕事や分担に関心が薄い。 ・ 衣・食などの生活に必要な基礎的・基本的な技能が十分に身につけていない。
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の生活を振り返って、自分ができる仕事を見つけ、家族の一員として協力して実践できるようにさせる。 ・ 簡単な調理と器具の取り扱いを学習し、調理後に感想や今後の課題を話し合い、これからの自分の生活に生かすことができるようにさせる。 ・ 手縫いの玉結び・玉どめ・ミシンの糸かけ等スムーズに行うための練習回数を多くし、実生活に役立てるようにする。
第六学年	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活に関する意識が薄く、栄養のバランスを考えた食事を摂るなどの食習慣が身につけていない。 ・ 生活時間の使い方、衣服の着方や手入れ、買い物方法などについて、興味・関心が薄く、理解度も低い。
	授業改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じた調理方法を学び、調理後に感想をまとめ、発表会を行う。 ・ 1食分の食事を見直し、栄養バランスを考えさせる。 ・ リフォーム作品を考え、縫い方・製作手順を工夫できるようにさせる。 ・ 起床後から就寝までの時間の使い方を計画し、規則正しい生活が、自分にとってよいことに気付かせる。 ・ 衣服を気持ちよく着るために、目的に合った洗濯や衣服の整理について考え、実践させる。 ・ 目的に合った物の選び方や金銭の計画的な使い方を考え、購入できるようにさせる。 ・ 自分たちの生活と地域の人々との関わりについて話し合い、家庭生活との深い関わりに気付かせる。